

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111405			
科目番号 /Course Number	10160132			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都の文学 I : Literature in Kyoto I			
担当教員名 / Instructor(s)	/(大塚 誠也) : OTSUKA Seiya			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	『源氏物語』の女君たちの人生を通じて、平安貴族の価値観や活動空間を学ぶ。平安貴族の世界はすなわち平安京であり、その文化文芸と地理はさまざまな場面で重なり合う。例えば光源氏がヒロインを見初めたのは「北山」だが、なぜ京内でなかったのか。平安京という空間を意識しながら、作品理解を進めたい。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	『源氏物語』のキャラクターやストーリーの特徴を説明できる 『源氏物語』に対し地理的な分析を行なうことができる 文学研究の基礎的な実践ができる
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan

No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	ガイダンス
	英		
2	日	第 2 回	紫の上ーヒロインと邸宅
	英		
3	日	第 3 回	明石の君ー大堰と山里
	英		
4	日	第 4 回	未摘花ー京中の古びた森
	英		
5	日	第 5 回	夕顔ー「あやし」の住まい
	英		
6	日	第 6 回	六条御息所ー葵祭
	英		
7	日	第 7 回	空蝉・朧月夜ーよばいの空間
	英		
8	日	第 8 回	藤壺ー禁忌のヒロイン
	英		
9	日	第 9 回	秋好中宮・朝顔の君ー神域の女性
	英		
10	日	第 10 回	玉鬘ー鄙あつてこそ
	英		
11	日	第 11 回	源典侍・近江の君ーすべてを過去に
	英		
12	日	第 12 回	中間課題ー論文を探そう
	英		
13	日	第 13 回	まとめとレポート書き方講座初級編
	英		
14	日	第 14 回	レポート書き方講座中級編
	英		
15	日	第 15 回	補遺編ー映像化された光源氏
	英		

履修条件 Prerequisite(s)

日	2000 字程度の期末レポートを【自力で】作文する意志があること。授業期間中に作文指導も行なう。
英	

授業時間外学習（予習・復習等）

Required study time, Preparation and review

日	<p>授業プリントを見返す、キャラクターごとの特徴を振り返るなど復習する。文学を志す学生は、原文と現代語訳を対応させながら読み、意識も含めなぜそのような訳になるか考えてみてほしい。</p> <p>授業で扱う・扱ったエリアを実際に訪ねてみる。</p> <p>本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。</p>
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	<p>《テキスト》</p> <p>資料を配布する。</p> <p>《参考書》</p> <p>易しい順に、大和和紀『あさきゆめみし』（講談社、2017 年）、鈴木日出男『知識ゼロからの源氏物語』（幻冬舎、2008 年）、高木和子『源氏物語を読む』（講談社、2021 年）。</p> <p>より専門的な文献は授業中に提示する。</p>
---	---

英	
---	--

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	毎回の授業時に提出するコメントシート (30%)、中間課題 (20%)、期末レポート (50%) で評価する。ただし出席が 2/3 未満もしくは期末レポートが未提出の場合、原則として評価の対象外とする。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	
英	